

佐井寺西土地区画整理事業に係る土質調査業務（その 5）

特記仕様書

1. 交通誘導警備員について

交通誘導警備員については、調査概要に示す調査地点の道路規制を想定し、一日 2 名配置を行うものとする。ただし、実際の配置人数及び場所等については、監督員及び警察等と協議のうえ決定するものとする。

警察との協議に必要な資料は、受注者で作成すること。

協議の結果、交通誘導警備員の配置人数に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とすることができる。

2. 安全施設等について

調査期間中における標識類、防護柵等、安全標識、施設類等については、関係各所との協議結果又は現場条件に応じて実施するものとする。

なお、交通整理に要する費用等についても同様の扱いとする。

3. 調査深度及び試験項目について

本業務は佐井寺西土地区画整理事業で整備する雨水調整池及び、擁壁等の設計に伴う土質調査業務であり、調査目的を十分に理解した上で目的に応じた調査深度及び試験項目を検討すること。なお、土質調査及び試験項目に変更が生じた場合は、監督員と協議を行ったうえ、設計変更の対象とする。

日々進捗の確認について、速報データを監督員に提出し、別途道路施設等設計計委託業者と削孔深度等、試験内容について、調整を行うこと。

4. 基盤面について

土質調査時に工学的基盤面が確認できた場合には、協議の上、措置を決定すること。また、この内容については、設計変更の対象とする。

5. 現場内小運搬について

- ① No.8、9、10、11、12、13、14 の 7 箇所は、モノレールによる運搬方法を見込んでいる。

- ② No.1、5、6、7、12、13、27 の 7 箇所については、特装車（クローラ）による運搬方法を見込んでいる。
- ③ No.17 の 1 箇所については、人肩搬入による運搬方法を見込んでいる
- ④ 上記①～③の運搬方法について、実際の現場条件に応じ、監督員と協議の上、設計変更の対象とすることができる。

6. 成果品について

成果品については、過去の委託業務におけるボーリング結果を反映させた内容で提出すること。

令和3年度、令和4年度（その3）および令和4年度（その4）の成果と連続した土層推定断面図の作成すること。

成果品の仕様について、監督員と協議し、決定するものとする。

7. その他

本特記仕様書及び、土質・地質調査業務仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議して決定するものとする。